

要望活動、広報啓発活動、課題整理のための費用

300万円

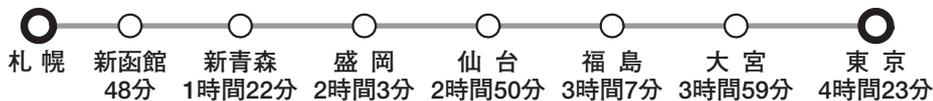
北海道新幹線の札幌延伸実現に向けて

ついに北海道の地を踏む新幹線。(仮称)新函館駅までの事業着手が決定し、昨年5月から工事が着々と進められています。市は、今後、新幹線の札幌延伸を実現するための活動を積極的に展開していきます。

【詳細】企画課 ☎211-2192

広がる交流

「札幌」から「東京」へ座ったままで4時間23分。函館や東北地方も、こんなに身近に。



経済効果

新幹線が新函館まで開通した場合に比べて、札幌まで開通した場合は、北海道への**経済効果が約12倍**になると試算されています。

大量輸送

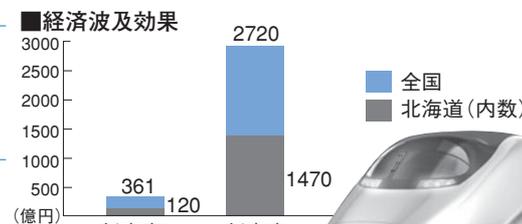
一度に1,200~1,300人を輸送可能。航空機(約550人)の**2倍以上!**

安心・安全

1964年の開業以来、乗客の**死亡事故は0!** 雪にも強いことが東北・上越新幹線で実証されています。

建設費

新函館から札幌まで延伸するための費用は1兆800億円(国土交通省試算)。これを国が3分の2、地方自治体(道や沿線市町村)が**3分の1負担**します。



※平成12年野村総研試算：北海道新幹線建設促進期成会委託調査

平成18年度の一般会計予算は前年度比1.2%減の7,840億円

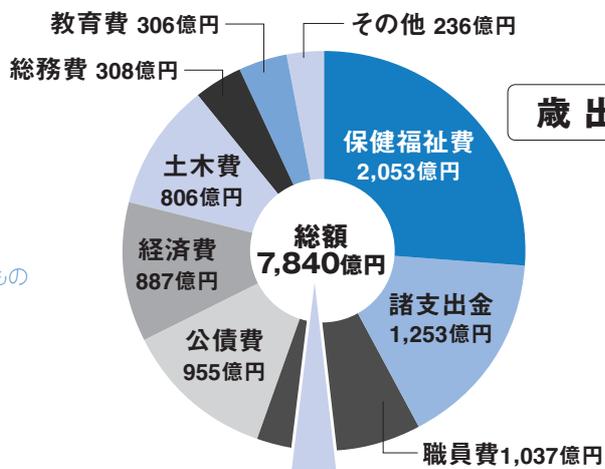
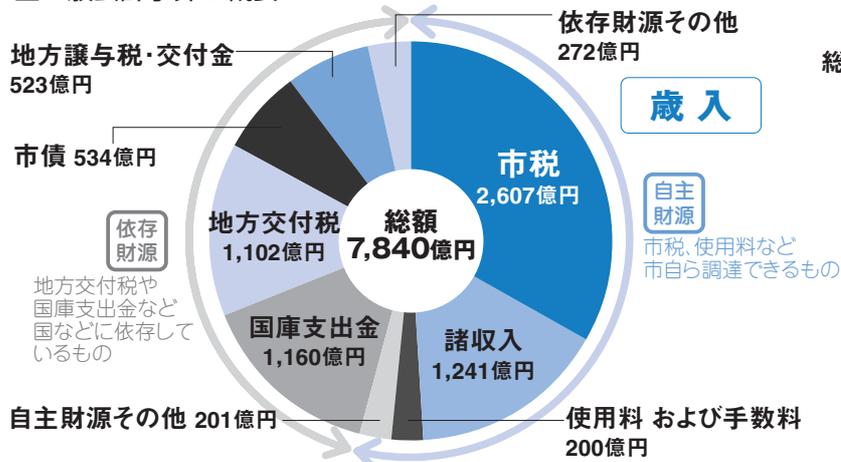
札幌市全体の18年度予算
1兆5,476億円

一般会計
7,840億円

特別会計
4,604億円

企業会計
3,032億円

一般会計予算の概要



市民1人当たりのサービスコストの状況
416,413円/年

- 福祉・保健・医療など(120,658円)
- 産業振興・観光・農務など(49,297円)
- 学校教育(32,571円)
- 道路・公園の整備など(69,390円)
- 総務・芸術文化・スポーツなど(33,253円)
- 消防(10,857円)
- 下水道・地下鉄などへの繰り出し(66,622円)
- ごみ処理・環境保全(15,327円)
- その他(18,438円)

※18年度予算額を1,882,754人(1月1日現在の人口)で除して算出。各経費には、関連する事業費のほか、職員費、公債費を含む